

アメリカのアフガン戦争を支援する、新テロ特措法延長案を、解散・総選挙の取引材料にするな！——悪法成立に手を貸す民主党に抗議・審判を！——

「近所のみなさん、日本共産党です。」

「人間らしく、当たり前に生きたい」という、ささやかな願いもかなわないような、毎日の暮らし——何とかして欲しいと、多くの方が、願っているのではないのでしょうか。

アメリカ発の金融不安や景気悪化の影響から、国民の暮らしと営業をまもるために、政治の責任が本当に大きいときです。

日本共産党は、トヨタやキャノンなど、大企業のリストラから、労働者を守るために、頑張っています。若い人たちを使い捨てにする、労働者派遣法の抜本改正をめざして、全力をつくしているところです。志位和夫委員長と日本共産党の奮闘ぶりを、「しんぶん赤旗」や、インターネットの「ニコニコ動画」で、ぜひご覧ください。

みなさん。

社会保障費の自然増も認めない、冷たい自公政治にかわる、新しい政治を、日本共産党といっしょに、進めようではありませんか。

お年寄りに、重たい負担と差別医療を持ち込んだ、後期高齢者医療制度は、参議院に続いて、衆議院でも、廃止法案を通せるように、力を合わせようではありませんか。

年間五兆円にもぼる、軍事費の無駄づかいを削り、大企業や大資産家に対する、行きすぎた減税を見直せば、医療や年金、社会保障の財源はつくれます。

国民の暮らしを応援して、日本経済全体を元気にする、日本共産党を、よろしく願います。

「近所のみなさん。」

自民・公明の麻生内閣が出した、景気対策と称する補正予算は、燃油高、資材高対策といっても、新たな設備投資が前提で、ゆとりのない中小業者には、役立ちません。

後期高齢者医療制度に至っては、サラリーマンの扶養家族だった方からの、保険料徴収を軽減するなど、小手先の取り繕いでしかありません。

景気対策というなら、庶民のふところを暖め、中小企業が元気になるようにするのが、一番ではないでしょうか。

政府は、銀行の貸し渋りや貸しはがしをやめさせるために、全力をつくすべきです。たった一回限りの定額減税と引き替えに、消費税増税に道をひらくなど、もつてのほかです。

国会審議がこんなに大事なのに、みなさん。

民主党は、麻生内閣が早期の解散・総選挙に応じてくれれば協力するといって、後期高齢者医療制度の存続を前提にした、補正予算に賛成したり、悪法の成立に協力したりしています。

アメリカのアフガン戦争に協力する、新テロ対策特別措置法の延長法案は、民主党の提案で、本会議質問も省略。たった二日間の審議で、衆議院を通過させてしまいました。そればかりではありません。

審議のなかで、民主党は、国連決議さえあれば、自衛隊が海外で武力行使ができるように、憲法解釈を変えろという立場まで、明らかにしました。

アフガン戦争が始まって七年。戦争で、テロはなくせません。アフガン政府自身、反政府勢力・タリバンとの、和平に向けた話し合いを進めている真っ最中です。

アメリカによる空爆も、それを支援する自衛隊派兵も、この努力を台無しにするものではないでしょうか。

新テロ対策特別措置法の延長法案を、廃案にするために、力をあわせましょう。自民・民主の憲法破壊の「大連立」を許さない、日本共産党をよろしく願います。